

あつあつの中国家庭料理で国際交流
第3回水餃子作り教室開催

2月24日、よこごし国際交流協会の主催により、水餃子教室が農村環境改善センターで開催されました。餃子作りを通して交流を深めようと始められたこの教室は、今回で3回目。参加した親子約20名は、中国人留学生など6名から皮や具の作り方を教わりながら、刻んだ野菜やひき肉、コショウなどを混ぜ合わせたり、すりこぎ棒で皮をのぼしたりしながら、中国の家庭料理である水餃子を一緒に楽しく作りました。その後、ゆであがったばかりのあつあつの水餃子を、しょうが入りの特製しょう油につけて「おいしいおいしい」と食べながら、餃子の文化や日中両国のお正月の過ごし方の違いなどについて語り合いました。



町内産にこだわったおいしい料理がてんこ盛り
「よこごしの味を楽しむ集い」開催

3月3日、中央公民館において、阿賀の里づくり・よこごしの主催による「よこごしの味を楽しむ集い」が開催され、町内外の家族連れなどおよそ90名が参加。6回目となる今回は、町内でとれた食材をふんだんに使った、昔のご馳走をモデルにしたおいしい料理が、オーブン形式で会場いっぱいにならされました。参加者たちは、よこごし鍋、茎菜汁、横越ポークの手作りソーセージ、手作りアイス、ムカゴ（パチンコ玉大の長芋の種）の揚げ物などおよそ10数品を、お碗や皿にたくさん盛って味わっていました。町外からある参加者は、「この催しには、スタッフの意気込みが感じられる」と感想を述べていました。



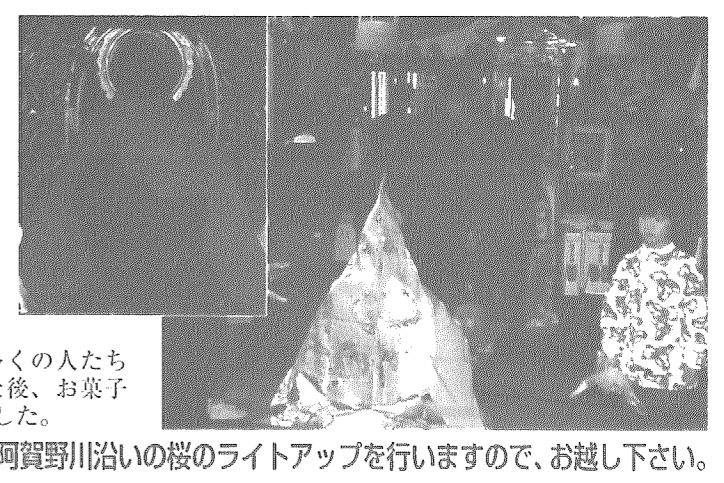
21世紀に羽ばたく新成人
165名の新たな門出を祝う

3月20日、サンウィング横越を会場に成人式が開催され、今年の対象者165名のうち、スーツ姿やあでやかな着物で着飾った113名が出席しました。式では、町長から「21世紀の貴重な一員として多くの課題にチャレンジして下さい。活躍に期待します」と式辞が述べられたほか、来賓の方々から祝いの言葉が多く寄せられ、成人者2名から「両親や友人などのおかげで成人を迎えられました。辛いことがあると思いますが頼れる人になりたい」と抱負を披露。また、中学校時代の先生や友達と久しぶりの再会を喜んだり、写真を撮る姿が見られました。今年では全国で成人式が混乱する騒ぎがありましたが、当町の成人式は静粛な中で進行されました。



昔話で有名な酒呑み地蔵
年に1度のご開帳で大賑わい

3月20日、小杉の法幢寺で、年1度の酒呑み地蔵のご開帳が行われました。名前の由来は、一銭も払わずお酒を飲み続けた小僧に店の主人が怒り、ナタを投げたところ小僧のかかとに当たり、主人がその血の跡をたどって行くと、法幢寺のお地蔵様の前で消えていたことから名付けられたとのこと。良い酒になるとか、井戸の水が良くなるなどのご利益があると言われています。当日は町内外から、子どもからお年寄りまで多くの人たちが集まり、読経の中、酒呑み地蔵にお参りをした後、お菓子まきが盛大に行われ、大変な賑わいとなっていました。木津公民館では、4月14日(土)から21日(土)まで小阿賀野川沿いの桜のライトアップを行いますので、お越し下さい。



みんなで楽しいひとときを
「地域のお茶の間」

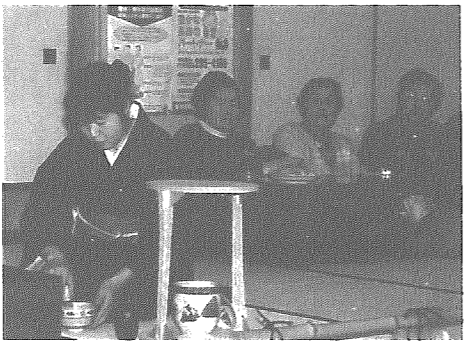
～毎月第4月曜日開催～

一昨年からはじめられた「地域のお茶の間」には、毎回たくさんの高齢者が参加しています。高齢者が寝たきりや痴呆になる最大の原因は「閉じこもり」と言われています。無理なく体を動かし、楽しく、話して笑って時間を過ごすという、高齢者の新しい生活習慣が広まれば、寝たきりや痴呆が少なくなると言われています。そうした生きがいづくりのきっかけにと「地域のお茶の間」ができました。誘い合ってご参加ください。

これまでの活動

1月22日、町シルバー人材センターの坂下さんを招いて、参加者のみなさんに、気楽に茶道

に触れていただきました。2月25日には、町の教育相談を担当している根谷さんから、孫との関わり方について話が合った後、女性コーラス「のぎくの葉っぱ」の方々とともに、参加者たちと春の歌などを楽しく歌いました。



▲気楽に抹茶を味わいました(1月22日)



▲孫との関わり方について話を聞きました(2月25日)

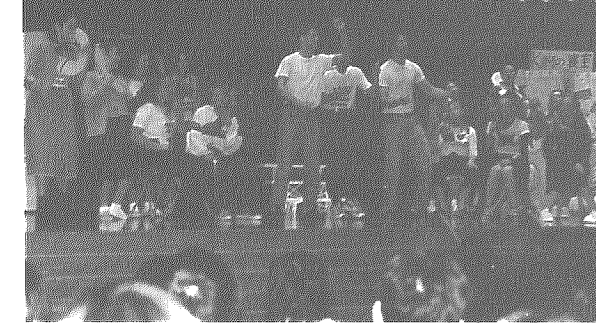


▲具がたっぷりの炊き込みご飯とあったかいみそ汁

このほかにも、色々な人たちを招いて三味線や腹話術を披露してもらったり、合併や介護保険などの話を聞いたり、みんなで体操やおしゃべりなどをして、楽しく過ごしています。お昼には、ボランティアの手作りによるおいしいご飯とみそ汁、デザートを300円でいただくことができます。毎回約40名の方が、歩



木津地域では、地区で「木津のお茶の間」を開催しています。・日時 奇数月の11日午前10時・会場 木津農業構造改善センター



外国語指導助手と中学生が熱演
英語によるチャリティーミュージカル
3月3日、手作りのチャリティーミュージカルが横越中学校体育館で行われました。このミュージカルは、外国語指導助手約30名で構成される県英語ミュージカル劇団によって演じられ、当町英語指導助手のミラーさんも参加しました。県内各地での公演によって得られた収益金は、貧しい人たちの住宅問題の改善を支援するために、国際住宅援助団体に寄付されています。ミュージカルのせりふはほとんど英語でしたが、ゆっくりと分かりやすく話して演じられ、ときどき日本語のジョークを交えたり、約10名の横越中学校の生徒たちもギターや歌で参加するなど、会場に集まった約100名の観客から、たくさんの拍手や笑いが沸いていました。